



## 恵みの記録はかたちを変えて、 変わらず届く――

J T J 宣教神学校 サーバントヘルパー 岸 義紘

J T J 宣教神学校の開校まであと6～7ヵ月のころ、信仰と理想だけで怖いもの知らずの私たちは、あれこれと準備を進めていました。ある日、後藤牧人先生が言いました。「準備の進み具合を知らせる『お知らせ版』を書いて、信仰の友に配ろう。祈りの応援を求めよう」。そしてあっと言う間に、先生が手書きでそれを作ってくれました。

実は香港に在住の人が、短い帰国中に、その「お知らせ版」を手にし、香港に持ち帰り、クリスチャンの仲間に渡してくれました。その人は一読、「経済的に自立する神学校をめざして」に共感、感動。ただ、現実の厳しさを思い、開校までに必要な全経費を献げるといふ申し出をくださったのでした。聖霊の導きでした。私たちは、この事業は神様から委託されたのだと、強い確認を抱きました。

こうして開校と同時に、学校と学生と卒業生たちの様子を知らせる「J T J ニュースレター」を年4回のペースで発行することとなりました。そしてバランスのとれた良いものが全世界の関係者を結んで、一体感を生み出してくれました。

その後、横山学長、重田学長へ引き継がれ、情報革命に合わせ、通信制の学習形態は刷新に刷新を加えつつ、学生のニーズに応じてきました。そして入学者も年間80名前後をキープし、「経済的自立」を維持しています。奇跡、奇跡、また奇跡ではありませんか。

紙からメールによるニュースレターへ。聖書と紙の文化が続く限り、必要に応じて、紙によるお知らせも期待しましょう。



J T J ニュースレターは  
メールマガジンに移行します



J T J ニュースレターは、今号をもって紙媒体での発行を終了し、メールマガジン（メールでの送付）に移行します。

**メールマガジンを受取るにはお申し込みが必要です。**

J T J ホームページの「お知らせ」ページ <https://jesustojapan.com/info/> から「メールマガジンの申込フォーム」へ入り、必要事項を記入して送信してください。または、右記QRコードからでも申込できます。



### トピックス Topics

#### ●新約聖書講解シリーズ（岸 義紘 著）のご案内

\* 岸義紘著『新約聖書講解シリーズ』のうち、これまでに発行された巻すべてが新装版として再刊行されました。これまで在庫切れとなっていた巻も含め、すべてお求めいただけます。ご購入は、ネット書店「万能書店」にて可能です。オンデマンド製本のため、従来より価格が上がっておりますことをご承ください。詳しくは、同封のチラシをご参照ください。

\* 同シリーズの最新刊『ペテロの手紙 第一』は、8月上旬に刊行予定です。ご注文は学校までお願いいたします。すでにシリーズ予約をいただいている方は、再度のご注文は不要です。

※550ページ／価格：3,410 円（税込）。  
ページ数、価格変更する場合があります。

#### ●学校説明会のお知らせ

日時：6月21日（土）11:00～12:00  
会場：J T J 宣教神学校（※Zoomでの参加も可能です）

当日は、重田学長と青木保憲先生（グレース宣教会）による対談も予定されています。  
★お申し込みは、J T J 宣教神学校のホームページより受け付けております。

#### ●J T J セミナー 2025 夏のお知らせ

日時：8月19日（火）～21日（木）  
【第一部】14:00～17:00 【第二部】19:00～21:00  
※時間に変更する場合があります。確定次第、ホームページ等でお知らせいたします。  
会場：J T J 宣教神学校（※Zoom参加も可能）  
講師：呂 柱奉（龍仁ぶどうの木教会 牧師）、  
金 清吉（牙山灯台教会 牧師）  
参加費：15,000円（一般）、5,000円（J T J 学生・卒業生割引／CLI割引適用）

※3日間通しの料金です（Zoom・教室参加とも共通価格）。  
※すべての参加者に、後日オンデマンドで視聴できるオンデマンド視聴用ID / アクセス情報を発行いたします。  
★お申し込みは、  
J T J 宣教神学校ホームページより受け付けております。



## ↑ ハウスチャーチ便り 第53号

### ハウスチャーチの「寛容」

茅ヶ崎ハウスチャーチ 小平 渉  
watarukodaira724@gmail.com

パリサイ派の者が「異邦人にも割礼を受けさせるべきだ……」と言った。

それに対して、  
「聖霊とわたしたちは、次の必要な事柄以外、一切あなたがたに重荷を負わせないことに決めました。すなわち、偶像に捧げられたものと、血と、絞め殺した動物の肉と、みだらな行いとを避けることです。以上を慎めばよいのです。健康を祈ります。」  
（使徒言行録 15：28,29）

私たちのハウスチャーチには専属の牧師はいません。聖書（同じ箇所）を読んで、全員が円卓会議のように、聴いたことを自由に発表します。話したり、祈ったりしたことは外部の人には他言しません。聖書の受け止め方が違っても、批判したり反対したりはしません（アシラム方式の一部）。それぞれ異なった考えがあってもいいのです。（キリストの十字架と復活を信じるなら）その人の考えとして尊重し、受け止めます。イエスもイエスを裏切った者、疑った者、誤解した者に対して、寛容であったように！



メンバーの家の  
玄関先で、  
賛美の時

お問合せ・各申込先

### J T J 宣教神学校

TEL.03-3842-3412  
E-mail:jtj@jesustojapan.com

★J T J 宣教神学校ホームページ  
<https://jesustojapan.com>



スクーリング、公開講座等のお申し込みがこちらからできます。学生・卒業生用ページを設けています。

★J T J YouTube チャンネル



★学校公認  
TikTok



★Instagram



新しい皮袋の創造をめざして  
JTJ ニュース

Number 157  
Jun. 2025

## いつでも、どこでもイエスに結ばれて生きる 学長 重田 稔仁

「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である……わたしを離れては、あなたがたは何もすることができない。」（ヨハネ 15:5）

信仰生活の本質は、「イエスに結ばれて生きること」にあります。特に卒業後の歩みの中で、その意識が問われます。

私はクリスチャンとして42年、牧師として27年を生きてきましたが、正直に言えば、つい最近まで、イエスに「結ばれて生きる」という実感に乏しい日々を送っていました。もちろん、礼拝や集会、説教の中で主の臨在を感じることはありました。しかし日常では、自己中心や自己愛に振り回され、イエスに結ばれているという確信が曖昧でした。

そんな私に転機が訪れたのは、4か月前、マレーシアで出会ったある牧師から「あなたの信仰生活は中途半端だ」と厳しく指摘されたときです。古い自分に死ななければ、福音は証しにならない。この言葉が心に突き刺さりました。

「自分を捨て、自分の十字架を負い、イエスに従いなさい」（マタイ 16:24）とあるように、イエスに結ばれて生きるとは、自己放棄・自己犠牲・御心への服従を日々選ぶことです。

私は今、その歩みを新たに始めています。遅すぎる気もしますが、恵みは今もなお働いています。なぜ私はここまでイエスとのつながりを実感できなかったのか。それは、イエスの福音を半分しか生きてこなかったからです。福音とは、罪の赦しと救いに加え、イエスとともに死に、復活のいのちに生きるという完全な恵みです（ローマ6:4-5）。この全き福音に生きるとき、私たちはイエスに深く結ばれ、豊かな実を結ぶ者とされます。

今、日本の教会は霊的な危機にあります。しかし主が求めておられるのは、まず私たち一人ひとりがキリストに結ばれて生きる喜びと感動を取り戻すことではないでしょうか。涙をもって主の愛に応答し、福音の全き恵みに生き直しましょう。

「主よ、私をあなたに結ばれた者として造り変えてください。」

### 「恵みの記録はかたちを変えて、変わらず届く。」――

紙の会報は今号で完結。次回からは、メールを通してお届けいたします。メールでの受け取りには申し込みが必要です。インフォメーションページをご覧ください。

